

科目名		安全衛生マネジメント学特論	
科目責任者		河村 洋子 (安全衛生マネジメント学 教授)	
開講時期:	1年次後期	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>職場の安全衛生に関するヒューマンファクターに焦点を当て、特に組織開発的視点に基づく安全衛生マネジメントについて理論と実践を学ぶ。実践にも活かすことができる理論的な基盤を構築する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人の行動の本質的特徴について説明することができる。</li> <li>2) 安全衛生に関するリスクについて、人間の行動の本質的特徴との関連を説明することができる。</li> <li>3) リスクコミュニケーションの重要なポイントを説明することができる。</li> <li>4) 組織開発に重要な理論及び手法の中から、少なくとも一つについて説明することができる。</li> <li>5) 組織開発における一般的なマネジメント及び安全衛生マネジメントの役割を説明することができる。</li> <li>6) 人の行動の本質的特徴との関連で、組織開発プロセスの重要なポイントを説明することができる。</li> <li>7) 人の行動の本質的特徴を包含する安全衛生マネジメントの重要な要素を説明することができる。</li> <li>8) 組織開発の視点に基づく安全衛生マネジメントの実践事例の特徴を指摘することができる。</li> </ol>			
● 評価方法	出席 (10%)、小レポート7回分 (70%)、最終レポート (20%) で評価。なお、レポートの中には、学生同士のフィードバックのやりとりなどの参加度も加味する。(詳細は、次ページ参照のこと)		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業スケジュール

回	項目	内容	担当教員
1 - 4	行動の科学	人の行動に関する理論を、先行研究を基に学ぶ。	河村
5 - 8	安全衛生リスクと行動の関連	安全衛生に関するリスクと人間の行動の本質的特徴との関連について学ぶ。	河村
9 -14	リスクコミュニケーション	リスクコミュニケーションの理論を学び、実践事例を知る。	河村
15-18	組織開発の理論とプロセス	組織開発に重要な理論を学び、実践の事例を知る。	河村
19-20	組織開発の手法	多層な組織開発に有用なアプローチや手法を学ぶ。	河村
21-24	組織マネジメント論と安全衛生マネジメント	一般的なマネジメント及び安全衛生に関するマネジメントに関する理論を学び、事例を知る。	河村
25-28	組織開発と安全衛生マネジメント	組織開発の視点による安全衛生マネジメントの国内外の事例を知る。	河村
29-30	最終レポート発表	最終課題レポートの発表を行い、相互フィードバックを行う。	河村

● 評価方法

7つの行動(学修)目標に応じたテーマでレポートを課す。さらに、複数の受講生がいる場合には、相互にフィードバックを提供することとし、相互コミュニケーションへの参加度でも評価を行う。なお、各レポートの課題設定では、抑えるべきポイントを示し、そのポイントをカバーしてあるかどうかによる自己評価と自分自身の理解度の自己評価を行うことで学習内容の振り返りの過程を強化し、定着を促す。  
 (配点:各回20点で構成は、15点が提出及び講師による評価、5点が相互コミュニケーション、5点が自己評価による振り返りの内容とする)  
 さらに、実在する安全衛生マネジメントの事例を見つけ、組織開発あるいは人の行動の本質的特徴という観点がどのように組み込まれているかを分析するという最終レポートを課す。他小レポート同様の仕組みとするが発表を行う。  
 (配点は40点で、25点が提出及び講師による評価、5点が相互コミュニケーション、5点が自己評価による振り返りの内容、中間発表の点数を10点とする)  
 (したがって、科目全体の中では、出席20点に加えて、7回\*20点+40点=180点満点で評価を行い、200点満点で評価を行う)  
 学生同士のフィードバックを中心にe-learningを活用して授業を進めていく。